

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス ぼっぼ				公表日	令和6年 12月 15日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動を分けて行っている。創作学習と運動する児童と分けている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			男性職員が少ないので、求人をしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		活動スペースとのんびりするスペースを、床の色分けで行っている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日児童が帰った後と、児童が来る前に整理整頓を行っている。また、季節に合わせて室温等も調整している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		行なっている。	相談室などを使い、1人になれる環境を作っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		スタッフ間で情報の共有を行い、振り返りも行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		業務携帯やメールにて連絡を取り合っている。	マチコミメールやLINEなど、利用できるように検討が必要。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		常勤・非常勤全員がスタッフ会議に出て意見交換を行っている。また、参加できなかった職員には後日意見を求める等している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現在は行っていない。	実施する場合は保護者に説明をしている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		どのような研修を受けたいか、どのような内容を聞きたいか等スタッフから意見を求めている。法人内に研修委員会があり、計画的に研修を開催している。	必要に応じて、分野に強い職員が研修を行う機会を設けている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		行なっている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		行なっている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		行なっている。	スタッフ全体で意見を出し合い、日々どのような支援を行なったらよいかを検討している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		行なっている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		インフォーマルな情報が少ない。	保護者やボランティアなど協力していただけたところを探していく。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		個別支援計画に記載している。	必要に応じて読み直しなどを行っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		行なっている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		行なっている。		

の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		行なっている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		行なっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			支援の振り返りを当日行っているが、しっかりとした打ち合わせは翌日には行っている。情報共有はその日のうちに必要に応じて行う。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		メモや連絡帳なども使用し、家族とやりとりを行い、検証・改善につなげている。支援記録ソフトへ、日中の支援内容を毎日児童ごとに記録をしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		常勤・非常勤全員が会議に出てモニタリングを行っている。非常勤からも意見が出るため有意義なものになっており、意見の採用もしている。	風通しの良い職場環境を整えていく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		「① 自立支援と日常生活の充実のための活動」、「②創作活動」、「③地域交流の機会の提供」、「④余暇の提供」を組み合わせ支援を個々に行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	○		色々な状況で選べる環境を設定している。やりたい活動や食べたいお菓子などもその一つ。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管を中心に会議に参加し、必要な時は担当職員も一緒に参加している。	参加した職員からのフィードバックを行い、情報共有を行っている。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		教育機関・障害福祉課等と連携している。	医療に関しては保護者からの情報の為、医療との連携は今後必要になる。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		送迎時を中心に予定や児童の様子の引継ぎを受け、事業所内で共有している。必要に応じて、個別対応も行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		今年度新規の児童がいない。必要に応じて行う。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		今年度卒業生はいない。必要に応じて行う。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			研修を受ける機会を増やす。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		地域のプレイパークに参加しているが、事業所外の子どものとの接触が少ない。	地域のイベントなどに参加できるように企画する。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		児発管が参加している。	協議会等があった場合は、スタッフ会議内でフィードバックしている。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳を使用し、その日の状況を伝えている。また送迎時などでも補足説明等を行っている。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		積極的に行っていない。	家族と一緒に研修を行っていないので、今後行えるようにしていった方が良い。ペアレントトレーニングなど必要に応じて企画する。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		変更があった際には口頭と文書でお伝えしている。不明な点等があった場合はすぐに児発管を中心に報告・説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		行なっている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画を作成・説明をしている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		行なっている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		年に一度保護者会を設定している。その際には兄弟がいる方にも参加をしてもらう事があり、一緒に活動を行ってもらっている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		管理者を中心にご家族からの要望等を検討している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			年に4回の法人の広報誌を各家庭に配布している。また、HPでは毎月アルバム内に、放課後等デイサービス以外の事業所の写真も見てもらっている。行事予定は毎月全家族に配布。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		スタッフ会議内で毎月話している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		コロナ禍により法人開催のお祭りが無い為地域住民を招待するなどが行なえていない。	地域のイベントなどに参加する。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルが閲覧できる場所にあり、誰でも見れるようになっている。また、家族懇談会の際には災害対応等のマニュアルを配布している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		年に2回、夏休みと春休みに行なっている。同ビル内に生活介護事業所があるため、合同で行い、緊張感を持って取り組んでいる。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		誰が何の薬を飲んでいるか・どのような既往歴があるか等をまとめ、非常時に持ち出せるようになっている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		ご家族より頂いた情報をスタッフで共有している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		事業所の近くにどのような公園があるか、その公園は安全か等、周知を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		家族に相談・対応を終始している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		毎月スタッフ内で検討している。必要に応じて、日々の打ち合わせ時に検討等を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		毎月スタッフ会議内で虐待についての話し合いを行っている。また、職員のストレスケア方法なども行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		現在、同意書をもらう方はいないため個別支援計画には記載していない。今後、必要になった際には十分に説明・検討を行う予定。		